

行政視察報告

(会派 至誠の会)

<視察目的>

- ・ 歴史を生かした観光戦略について
- ・ 議会改革について
- ・ 空き家対策について

<視察概要一覧>

視察月日	視察先	視察施設	視察内容
11月14日	滋賀県 近江八幡市	安土城址外	① VR 安土城事業について ② 観光アプリについて
11月15日	大阪府 八尾市		議会改革 ① 予算決算常任委委員会への取り組み状況について
11月16日	京都府 綾部市		空き家対策 ① 定住支援事業について

<視察概要報告>

1. 近江八幡市

対応部署：総合政策部文化観光課

●説明概要

中田幸雄副議長の歓迎の挨拶のあと、担当職員より資料にて説明を受ける。

ヴァーチャルリアリティ技術を活用し、安土城の復元を行うことで、観光さらには文化振興の一助となり、市民から理解を得ていると説明あり。

<考 察>

文化財として、重要な位置づけにあると思われる安土城址が総合政策部で文化観光課の所管として諸施策に取り組まれているが、問題は無いかの問いに、教育委員会との併任により、横軸の体制で政策の一つに位置づけ一定の成果を上げているとのこと。織田信長の歴史遺産を生かした町づくりが創造会議（プロジェクトチーム）で、官学民一体となって取り組まれ、効果が上がっていると感じた。

今後の展開や課題も精査されており、観光アプリの活用等で観光戦略が注目される。

<視察概要報告>

2. 八尾市

対応部署：議会事務局 議事政策課

●説明概要

大星なるみ副議長より歓迎の挨拶のあと、担当職員より資料にて説明を受ける。

議会改革の中で、予算決算の審査について課題を整理し特に決算審査の内容が次年度予算編成に反映するため、又、審査時期の前倒しの必要性から、常任委員会設置と分科会方式と併用し、全議員が審査に参画出来る流れとした。

<考 察>

決算審査は、現行の安来市議会と同じ限られた議員により審査されたが、予算と連動することから、各常任委員会で分科会と称して審査し、全議員が決算審査にかかわることで、長期的継続的な視点での議会の機能を強化し、次年度予算編成に反映出来ること等効果があると思われた。申し合わせ事項が詳細に定まっておられ、現行で特に問題は無いかの問いに、全会派一致を原則としているので問題はないとのことでした。

<視察概要報告>

3. 綾部市

対応部署：定住交流部 定住地域政策課

●説明概要

議会事務局長より歓迎の挨拶のあと、担当職員より資料により説明を受ける。

市の総合計画の中で人口減少対策に位置づけ、平成20年度は企画部で空き家バンク、定住希望者相談総合窓口を設置し、平成29年度から定住から地域振興を目的とし定住交流部を設置し、市民、事業者、行政が一丸となって取り組まれた空き家活用、定住促進事業の成果が説明された。

<考 察>

交流から定住への市の指針から具体的に「あやべ定住サポート総合窓口」を設置し、空き家紹介、地域活動支援、さらに実践として農林課が就農支援、商工労政課が就職支援を担当し、定住の施策と定住後のサポートも取り組まれている。

空き家活用定住促進事業費補助金制度も一定の実績がうかがえる。商工会議所（宅建業者）との連携も法的手続等に効率で実績が継続していると思われた。

※綾部市が目指すまちづくり実現のため都市計画区域区分（線引き）を廃止し、現状に即した持続可能な都市の形成を目指すことが平成28年5月から施行されている。参考になった。